

一般質問



**医療介護を現場で支える人材**

中川 正美 議員 自由民主党/伊勢市・鳥羽市選出



**問** 75歳以上人口の増加が見込まれる中、今後の医療を支えるためには、特定行為研修を修了した看護師を増やす必要があります。また、不足感が年々高まる介護支援専門員（ケアマネージャー）の確保や定着を進める必要があります。それぞれについて、県の取り組みを伺います。

**答** 特定行為研修を修了した看護師の増加に向けて、指定研修医療機関を増やすとともに、研修制度の概要やメリットについての説明会や相談会の開催、研修の受講費用の支援を行い、研修修了者の確保に努めます。また、介護支援専門員については、オンライン方式による更新研修受講や事務処理におけるICT機器導入支援などによる負担軽減を図るとともに、処遇の改善について引き続き国に要望していきます。

その他の質問事項

- 海洋環境の変化に対応した漁業の在り方について
- 戦略的な観光誘客について ほか



**国道477号バイパス東側延伸**

石田 成生 議員 自由民主党/四日市市選出



**問** 北勢地域と周辺の地域との道路交通をスムーズにするための計画が進みつつあります。臨港道路霞4号幹線の南側延伸ルートの検討も進められていますが、このルートの機能を十分に生かすためにも、接続する国道477号バイパスの東側延伸は欠かせません。今後の延伸計画を伺います。

**答** 国道477号バイパス東側延伸は、中心市街地での道路事業となり、国道1号や23号などの幹線道路との接続や鉄道との交差が想定され、周辺住民の方々の生活環境への影響が大きくなることから、県民の皆さまや周辺企業のご理解・ご協力が不可欠です。また、巨額の費用が必要となるため、慎重かつ丁寧に進める必要がありますが、渋滞による社会損失は大きく、地元の要望も踏まえて、できる限り早期に検討していきます。

その他の質問事項

- カーボンニュートラル（二酸化炭素削減）の進捗
- 食料安定供給に向けた県民への働きかけ ほか



**学校給食における地場産物食材の使用**

辻内 裕也 議員 自由民主党/桑名市・桑名郡選出



**問** 学校給食での地場産物の使用は、県内農家の所得増につながる数少ない需要です。県内の学校給食における地場産物の使用割合は全国平均をやや上回っていますが、この割合をさらに引き上げる必要があると考えます。これまでの取り組みと課題について伺います。

**答** 学校給食での地場産物の利用拡大は、安全・安心な食材を安定的に供給するための一定の要件を満たすことを前提として、積極的に進める必要があると考えています。利用拡大を図るうえでは、特定の食材を一定量確保すること等が課題となっておりますが、取り組みを進める中で、規格外の地場産物の加工品が給食に活用されるなどの成功例が生まれています。引き続き、利用拡大に向けて積極的に取り組みます。

その他の質問事項

- 県産品の輸出について
- 宿泊税導入検討における慎重な対応について ほか



**避難所での生活が難しい“災害弱者とその家族”の避難先確保**

山内 道明 議員 公明党/四日市市選出



**問** 発達障がいや知的障がいのある方等、さまざまな事情で通常の避難所では落ち着いた生活が困難な方は、避難場所の確保と避難所での支援に不安を抱えています。車中泊避難のスペースの事前確保や公表、ホテルや旅館の活用などにより、避難先の確保に取り組むべきではないでしょうか。

**答** 車中泊避難スペースの事前公表は、災害の状況によって、そのスペースが避難先として適当か、支援体制が確立できるかなど、さまざまな観点で検討が必要のため、市町と意見交換をしながら取り組みます。また、大規模災害時、配慮を要する方とその家族が旅館やホテルへ避難できるよう、三重県旅館ホテル生活衛生同業組合との間で協定を締結しており、こうした民間事業者との連携も進めながら、安心できる避難先の確保に取り組めます。

その他の質問事項

- “発達障がいのある子どもとその家族”への支援充実に向けた地域における支援ネットワークの構築
- 犯罪組織(集団)によるSNSを通じた“闇バイト”から未来ある若者を守る取り組み



**献血推進について**

森野 真治 議員 新政みえ/伊賀市選出



**問** 献血による輸血用血液の安定供給のためには、特に若年層の方々の献血への理解と協力が不可欠です。高等学校における学校献血として、体への負担が少なく年齢と体重の基準が緩和される200mL献血を推進することで、その後の献血への動機付けにもなると考えますが、いかがですか。

**答** 現時点で、県内の血液供給に支障は出ていませんが、今後、人口減少・高齢化が一層進むなか、現状のままでは血液供給がひっ迫する事態も想定されるため、若年層の献血を促進し、将来に向けた献血人口を確保していく必要があります。若年層の初回献血として200mL献血を実施することは一つの好機であると考えますので、三重県赤十字血液センターに対し、献血バスでの200mL献血の実施について、積極的に働きかけます。

その他の質問事項

- 出産子育て支援について
- 安定型産業廃棄物最終処分場の新規設置 ほか



**OD(オーバードーズ)防止対策**

川口 円 議員 新政みえ/津市選出



**問** 市販薬等のオーバードーズ(過剰摂取)は、急性中毒による意識障害や錯乱などを引き起こし、命に関わる危険があります。東京では若者のODが増え続けており、地方への波及も考えられます。ODの防止対策、なかでも救急搬送後のサポートについて、県の取り組みを伺います。

**答** 県では、学校での医薬品の適正使用の啓発や、ドラッグストア等への販売規制の周知徹底、こころの悩みへの相談対応や、自助グループ・依存症治療拠点機関等と連携した生活支援・専門治療の受診調整など、「未然防止・入手防止・再乱用防止」の各段階における取り組みを一体的に進めています。また、救急搬送された方が専門医療機関や相談窓口につながるよう医療機関に案内の協力を依頼しており、引き続き市販薬の乱用防止に努めます。

その他の質問事項

- 避難所における暑さ・寒さ対策について
- 香良洲海岸の松枯れについて ほか